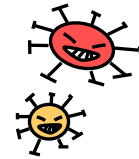






感染症に気をつけよう!

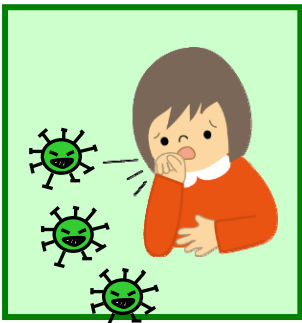
2017年【2月号】



横浜市内の感染症 流行状況

感染症	流行状況		説明 【解説付き既刊号等】 ← クリック
	流行状況	流行状況	
インフルエンザ	 大流行	 増加	1月下旬に警報が出ました。例年、2月ないし3月まで警報レベルの流行が続いています。【'17.1号】【Q&A】
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	 やや流行	 横ばい	昨年と同様に、例年より多い状態が続いています。最も有効な予防方法は、ワクチン接種です。【'16.6号】

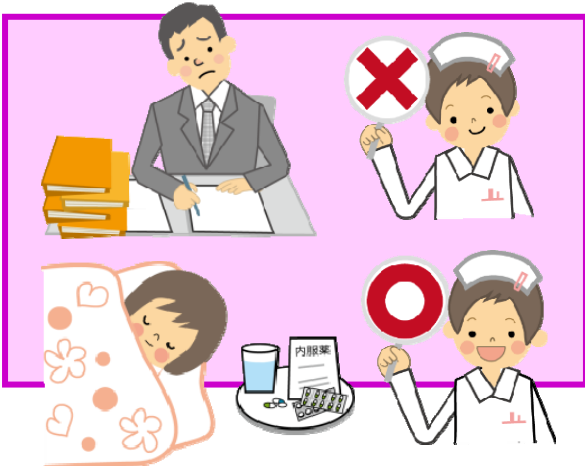
今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- インフルエンザウイルスは主に、咳やくしゃみの時に口から飛び散るしぶき(飛沫)によって感染します。
- また、感染しても症状が出なかったり、かぜの様な軽い症状だけで、本人も周囲もインフルエンザに感染していることに気が付かない場合もあります。



- そのため、予防には、普段から皆が咳エチケットを心がけ、正しい手洗いを習慣にしておくことが大切です。
- もし咳や熱などの症状が出てしまったら、咳エチケットを守り、早目に受診してください。



- 熱が下がっても人にうつす可能性があります。一般的には、発症後3~7日間は鼻やのどからウイルスが排出されると言われています。
- 他の人にうつさないためにも、無理をせず、学校や仕事は休みましょう。

